

お笑いコンビ「ダイノジ」の大谷ノブ彦さんのエッセーです。

①大分方言「よだきい」とは、どんな意味でしょう。

想

お笑いコンビ「ダイノジ」  
大谷ノブ彦さん(42)



②大谷さんは「よだきい」が大分方言になったのは、どういった歴史があると語っていますか。まとめてみよう。

③ほかに大分方言を知っていますか。意味と一緒に発表してみよう。

県人エッセー 回り舞台



お笑いコンビ「ダイノジ」の大谷ノブ彦さん(右)。左は大地洋輔さん

この間、NHKさんの特番で方言について勉強したんです。面白かったなあ。大分のソウルワード(そう)いう言葉があるか知らんけど、"よだきい"がありますよね。面倒くさい、おづくうだって意味で子供のころから口癖みたいに連發してた。嫌いだったんですけど、この言葉。なんかネガティブですね。みんなで何か面白いことをやろうってとき、どこからともなく"よだきい"って声が聞こえてきてね。なかなか熱くなれない。僕自身、協調性があつたわけ

## 戦争なんて"よだきい"

### 言いたい、月が奇麗と

おおたに・のぶひこ 佐伯市出身。佐伯鶴城高校、明治大学政治経済学部卒。幼少期の大谷洋輔さん(41)と1994年にコンビを組み、2002年「M-1グランプリ」で決勝進出。13年4月から1年間、人気ラジオ番組「オーナーナイトニッポン」水曜日のハーツナリティーを務めた。DJとしても活躍中。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属。東京都在住。

たらしい。言葉狩りってやつです。でも大分や宮崎はなんだよなって思えるように藩が細かく分離してるのがなりました。日本語は本当に面白い。花によって終わりの言い方で、藩の取り決めも相当ルーズだったんだとか。だからそこだけその言葉も廢が違う。桜は散る、梅はこれず残ったとか。この由来はれる、ツバキは落ちる、朝顔はしほむ、菊は舞う、

直接的じゃない、多面的な魅力。そして僕らはそれを楽しむ本能がある。かといつて、憲法をいろんな解釈で捉えていいというのを知らない。それは反対。それこそ戦争なんですよ。よだきいじゃないですか。

ボタンは崩れるとか。それではないんですが、やっぱて思つたんですね。言葉を規制していた時代は高揚しますよね。代、庶民の人々は不謹慎な時代のお話。ロマンチックですね。この間、NHKさんの特番で方言について勉強したんです。面白かったなあ。大分のソウルワード(そう)いう言葉があるか知らんけど、"よだきい"がありますよね。面倒くさい、おづくうだって意味で子供のころから口癖みたいに連發してた。嫌いだったんですけど、この言葉。なんかネガティブですね。みんなで何か面白いことをやろうってとき、どこからともなく"よだきい"って声が聞こえてきてね。なかなか熱くなれない。僕自身、協調性があつたわけ

首都圏など県外で活躍している県出身者に、それぞれの現場から、身近な話題や今の思いをつづってもらいます。毎月第3金曜日掲載。